

## 六甲ケーブル 85周年 発着駅で記念式典



開業85周年を鏡開きで祝う関係者たち＝神戸市灘区高羽西山

も多くの観光客や地元住民を運ぶ。

セレモニーではまず、ケーブルを運営する六甲山観光の宮西幸治社長が「先人たちの努力とお客さまのおかげでこの日を迎えられる。100年の節目を目指し、今後も安全第一で運行していく」とあいさつした。

その後、同社関係者5人による鏡開きが行われ、訪れた利用者らに祝いの日本酒が振る舞われた。

神戸市北区の小山勲さん(77)は「山歩きのとき、下山に使ったり、山上まで行ったりしている。記念すべき日に来ることができてうれしい」と話していた。

(杉山雅崇)

六甲山の山上と市街地を結ぶ「六甲ケーブル」が10日、開業から

85周年を迎えた。発着駅の六甲ケーブル下駅(神戸市灘区高羽西山)で記念セレモニーが催され、関係者らが鏡開

きなどで節目を祝った。

六甲ケーブルは、1932(昭和7)年に運行を開始。太平洋戦争や阪神・淡路大震災などによる度々の運行休止を乗り越え、現在